



国道56号沿いの下呉地から県道作屋影野(停)線に入ると魚ノ川はある。入口が下呉地で、中の集落は魚ノ川。さらに奥呉地と一谷で、三集落の続く地区。中呉地としてもよさそうなのだが、「サカナの川」と書く。明治4年、廃藩置県を施行した時に出てくる文字は「魚野川」。明治22年からの新しい町村が編成された時は「魚川村」とある。山の上から見たら魚に見えたから、魚ノ川になったと聞いたことがある」と地元の人はずいぶん何となく上空から確かめてみたいものだ。魚ノ川には植物にちなんだ小字が多い。笹の川、茶引淵など、10いくつもある。



笹の越トンネル

現在、笹の越の県道は四国の道と位置付けられており、影野から高岡神社を経て窪川駅に至るルートは「五社の道」という名称で、歩きファンを増やしている。魚ノ川地区は25世帯の里。氏神様の境内には譲葉の大木がある。譲葉は猪欄に囲まれた農地では、秋の収穫を夢見て土作りが行われていた。



乳もらい木

魚ノ川に行ったら「これだけを見て帰ってください」と言いたい巨樹がある。「仁井田のヒロハチシャノキ」だ。国指定天然記念物で、樹齢約700年以上、九州大宰府のチシャノキと共に日本の巨樹であり、実に堂々たる物である。時期的に今は葉が無いが、柿に似た葉をつける。別名「乳もらい木」とも言い、なるほど幹からは数房オツパイが垂れている。そのチシャノキの周辺は花見の名所となっており、ソメイヨシノを数えてみれば約70本の桜が咲くようだ。シーズンには雪洞提灯が灯り、情緒をかもし出している。

町のうごき

2月29日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	9,132	-15	男 2	23	19	13
女	10,208	0	女 3	11	18	10
計	19,340	-15	計 5	34	37	23
世帯数	8,769	-6	2月中の届出)			

四万十川の
水質状況

適正值(mg/L)	2月16日
リン酸	5.0 測定値以下
硝酸	0.5 1.118
アンモニウム	5.0 測定値以下
アニオン活性剤	1.0 0.650
化学的酸素消費量	10.0 2.163

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)